

# 報告書〔6〕 分析結果及びフローシート

## エストラジオール類

[ 12.17 -エストラジオール 13.17 -エストラジオール 14.エチルエストラジオール ]

分析実施機関名	整理番号 *	*	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001~9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025 (Cal'25) 4. なし
分析主担当者名	*	分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(検体数)	検体

分析項目	注1) 分析結果 (ng/l)	標準偏差 (ng/l)	測定回数 (回)
17 - エストラジオール	⑤	⑥	⑦
17 - エストラジオール	⑧	⑨	⑩
エチルエストラジオール	⑪	⑫	⑬

分析開始日	⑭	月	日
分析終了日	⑮	月	日

<分析法等>

分析法	⑯ 1. 固相抽出-メチル誘導体化-GC/MS 2. 固相抽出-ベンザル和ベンジル誘導体化-GC/MS 3. 固相抽出-tBDMs誘導体化-GC/MS 4. その他( )
クリーンアップ	⑰ 1. フロリジルカラムクロマトグラフィー 2. シリカゲルカラムクロマトグラフィー 3. TLC 4. HPLC 5. その他( ) 6. 実施しない
試料量	⑱ ( ) ml
最終定容量 注2)	⑲ ( ) ml

注2) 測定用試料液の量を記入する。

<固相抽出条件>

固相の種類	⑳ 1. カラム型 2. ディスク型
充てん剤の種類	㉑ 1. C18系 2. ポリスチレン系 3. ポリメタクリレート系 4. その他( )
粒径量	㉒ ( ) μm ㉓ ( ) g
溶出溶媒の種類	㉔ 1. 酢酸メチル 2. メタノール 3. 酢酸メチル/メタノール 4. その他( )
量	㉕ ( ) ml

<分析条件>

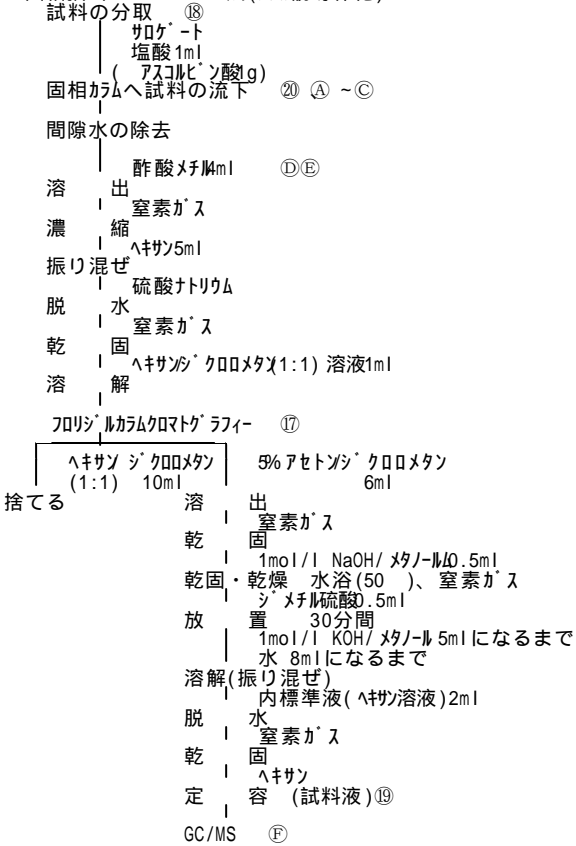
注入量	㉖ ( ) μl
機器型式(GC)	メーカー( ) 型式( )
機器型式(MS)	メーカー( ) 型式( )
装置型式	㉗ 1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. その他
イオン検出法	㉘ 1. SIM法 2. マスクドイオン法 3. その他( )
イオン化法	㉙ 1. EI 2. NCI 3. その他( ) 2. の場合 反応ガス: ㉚ 1. メタン 2. イソブタン 3. その他( )
測定時のMS分解能	㉛ ( )
カラム型式	メーカー( ) 型式( )
カラム形状	㉜ 内径( ) mm ㉝ 長さ( ) m ㉞ 膜厚( ) μm
カラム昇温条件	初期温度 _____ 保持 _____ 分 _____ ~ _____ / 分 _____ ~ _____ / 分 最終温度 _____ 保持 _____ 分
キャリアガス条件	㉟ 1. N <sub>2</sub> 2. He 3. その他( ) ㊱ ( ) ml/分
試料注入部温度	㊲ ( )
試料注入方法	㊳ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム

<検量線の作成等>

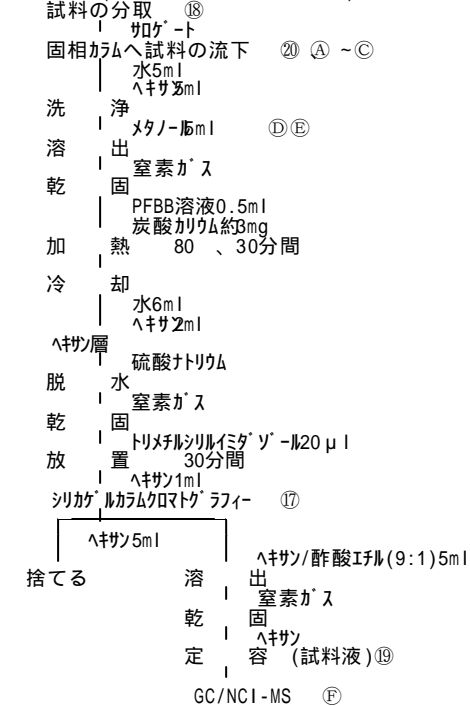
サロゲートの使用	㊴ 1. 使用する 2. 使用しない 1. の場合: サロゲート: ㊵種類( ), ㊶添加量( ) ng
定量方法	㊷ 1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 3. の場合: 内標準物質: ㊸種類( ), ㊹添加量( ) ng [ サロゲート及び内標準物質の種類リスト ] 1. 17 - エストラジオール-16, 16-d <sub>4</sub> 2. 17 - エストラジオール-2, 4, 16, 16-d <sub>4</sub> 3. クリセシン-d <sub>12</sub> 4. その他( )
試薬(標準原液)	㊺ 1. 購入 2. 自作 1. の場合メーカー( )

注1) 2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。  
なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受付ませんので、記入間違いや単位間違い等に注意してください。

<固相抽出-GC/MS法(メチル誘導体化)>



<固相抽出-GC/NCI-MS法(ベンザル和ベンジル誘導体化)>



# 報告書〔6〕(つづき)

整理番号	*	*	*
------	---	---	---

< 測定質量数及び検出下限値 >

項目	質量数	検出限界 (ng/l) 注1)
17 -エストラジオール	◇	
17 -エストラジオール	◇	
エチニルエストラジオール	◇	

注1) 試料中の濃度を示す。

< 検量線の作成等 >

項目	区分	記入欄
17 -エストラジオール	検量線	作成点数 ( ) 範囲 ( ) ~ ( ) 注2) 単位: 1. pg(注入量) - 2. μg/l(濃度) ⑤ 最高濃度ピーク高又は指示値 ( )
	試料液	ピーク高又は指示値 ( )
	ブランク	ピーク高又は指示値 ( )
17 -エストラジオール	検量線	作成点数 ( ) 範囲 ( ) ~ ( ) 注2) 単位: 1. pg(注入量) - 2. μg/l(濃度) ⑤ 最高濃度ピーク高又は指示値 ( )
	試料液	ピーク高又は指示値 ( )
	ブランク	ピーク高又は指示値 ( )
エチニルエストラジオール	検量線	作成点数 ( ) 範囲 ( ) ~ ( ) 注2) 単位: 1. pg(注入量) - 2. μg/l(濃度) ⑤ 最高濃度ピーク高又は指示値 ( )
	試料液	ピーク高又は指示値 ( )
	ブランク	ピーク高又は指示値 ( )

注2) GC/MSに注入する量又はGC/MSに注入する溶液中の濃度を示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

試料液の調製について	-----
測定方法について	-----
分析全般について	-----